

千代田支部ニュース

「変革のコアとなる、絆と連携をもとに」

<http://www.chiyoda-p.com/> 東京都印刷工業組合千代田支部 発行人 山本久喜 編集人 齋田精一

千代田支部厚生事業 ヤマサ醤油工場見学及び落花生掘り体験

平成 24 年 9 月 29 日（土）、秋の厚生事業として、今回も千代田支部と千代田区商工業連合会（米倉伸三会長）との共催にて大型バス 2 台に分乗、晴天の中、午前 8 時 5 分に千代田区役所前より出発。湾岸道路経由にて渋滞なしでスムーズに進み、酒々井インターにて休憩する。その後 9 時 50 分、香取インターチェンジを通過してヤマサ醤油銚子工場へ一路バスは向かい 10 時 50 分に予定通り到着する。



▲ ヤマサ工場全景



▲ 千代田区役所前にて集合

暖流と寒流が沖でぶつかりあう銚子は、夏涼しく、冬暖かく、しかも湿度が高いという海洋性の気候風土を持っているため、こうじ菌など微生物の働きを活用する醤油醸造には最適地である。このような風土の特長を見出し、ヤマサが醤油づくりを始めたのは江戸時代初め頃です。また、江戸時代末期には幕府からも品質の良さを認められたほどです。銚子は利根川、江戸川によって当時より大消費地であった江戸と結びついていたという水運にも恵まれ、醤油の町として栄えた。といったことが映画上映で説明を受ける。（当日は工場休業日）



ヤマサマークの「上」の意味

ヤマサのマークの右上にある「上」の字は、高品質の醤油をつくり続けてきた証です。江戸末期の 1864 年（元治元年）、幕府は物価の上昇を抑えるため、諸商人に販売価格の割引を厳命しましたが、ヤマサをはじめとする 7 銘柄については、品質が優良なため、特に「値を下げるには及ばず」とのお墨付きを得て「最上しょうゆ」の称号が与えられました。その証がマークにある「上」の文字です。



▲ 米倉商工連会長 挨拶



▲ エサを求め海鳥が乱舞



▲ 山本支部長 乾杯



▲ 名物活魚料理

ちなみにヤマサという社名は長い年月をかけて改良し育成してきた「ヤマサ菌」から由来している。

昼になり、銚子市の黒生海岸にある一山いけすにて活き魚料理を堪能する。食後ペランダで飛んで来るカゴメに残飯を投げ与えて騒いでいる人もいた。

次に「かねまた水産」で買い物をしてから、香取市にある落花生の農園で各自 5 株ほど

落花生を掘り、袋にもいで持ち帰ることができるということで、全員軍手をして落花生から土をはらって採る体験を楽しんだ。3時半になり、バスはすべての予定を終え無事帰路に着いた。

厚生事業ということで、会費 3,000 円が3倍以上楽しめた企画であり、来年も大勢の参加をお待ちしております。尚、参加人数は48名であった。



▲ 山一いけす前海岸にて



▲ かねまた水産にて休憩



▲ バスを降り畑へ向かう



▲ ▼ 土から採る体験をする



▲ 落花生は土の中にあった・・・



第2回 顧問相談役会



又、トピックスとして千代田区との災害時における基本協定を締結致しました。」等の事業の総括と今後のスケジュール等の説明があり、賛同を得た。次に新村顧問より執行部へのはげましのお言葉を頂き、乾杯のご発声にて懇談会となった。

(出席者)

新村顧問、下谷顧問、小林顧問、青木相談役、佐野相談役、山本支部長、斎田副支部長、大西副支部長、金子副支部長、磯崎副支部長

第2回顧問相談役会は平成24年12月11日(火)、午後6時より神楽坂の割烹「加賀」において開催された。大西副支部長の進行により、始めに山本支部長より日頃の謝辞を述べた後、「今年は組合員の為の研修事業と親睦の2つの柱でやって参りました。BCPの研修会を7月に又、ブランド研修会を11月に開催し、最終的に千代田支部のブランドを確立させたいと思います。

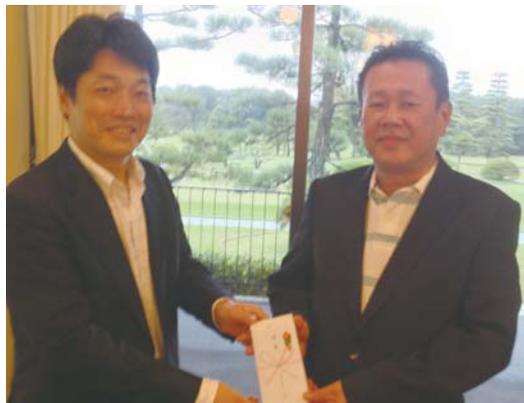


第49回 千代田印刷人ゴルフ大会 —鷹の台カンツリークラブ—

平成24年10月18日(木)、今年も恒例の千代田印刷人ゴルフ大会が「鷹の台カンツリー倶楽部」にて曇り空の中開催。

千代田支部員及び関連業者あわせて40名11組にて、午前8時半よりアウト、インより同時にスタートして真剣なプレイが繰り広げられた。

今年(株)ソーラン社の中村毅氏がみごとに初優勝に輝いた。準優勝は(株)セレクトの小林勉氏、3位は土屋哲世氏であった。またバスグロは元立教大学ゴルフ部出身の磯崎印刷(株)、磯崎正仁氏、一方シニアの部の優勝は富士印刷(株)、秋元裕氏が栄冠を手にした。プレイ後のパーティ会場にて山本支部長より賞品が手渡された。



▲優勝賞品を受け取る 中村毅氏 ▼優勝の弁



【順位表】上位者16位まで

順位	氏名	OUT	IN	グロス	HDCP	ネット	賞
1位	中村 毅	42	44	86	15.6	70.40	優勝
2位	小林 学	51	50	101	30.0	71.00	準優勝
3位	土屋 哲世	43	46	89	16.8	72.20	三位
4位	田口 友也	41	43	84	10.8	73.20	
5位	磯崎 正仁	39	42	81	7.2	73.80	バスグロ
6位	塚田 司郎	45	48	93	19.2	73.80	
7位	林 浩之	44	42	86	12.0	74.00	
8位	野見山 芳忠	43	47	90	15.6	74.40	
9位	奥山 武樹	51	51	102	27.6	74.40	
10位	神林 秀康	55	49	104	28.8	75.20	
11位	松浦 保	42	48	90	14.4	75.60	
12位	秋元 裕	50	56	106	30.0	76.00	シニア優勝
13位	金子 雅明	51	48	99	22.8	76.20	
14位	木村 俊弘	52	53	105	28.8	76.20	
15位	大倉野 泰之	41	44	85	8.4	76.60	
16位	沢田 耕次	54	55	109	32.4	76.60	シニア準優勝



第2回研修会 印刷会社のブランディングについて



平成24年11月9日(金)、午後6時～7時半に第二回研修会として競合他社の製品およびサービスとの差別化を狙いとしたブランディングについての勉強会を開催しました。テーマは“印刷会社のブランディングについて”。講師に一般財団法人ブランド・マネージャー認定協会 事務局長/シニアトレーナーでソフトコミュニケーションズ株式会社 秋葉薫氏をお迎えし34名の方が受講されました。

ブランディングとは、企業が顧客にとって価値のあるブランドを構築するための活動です。各社の強味・弱味を分析し強味を武器とした戦略と目標管理を設定し実行するものです。支部の皆様がブランディングを勉強することで高い競争力を築きあげ、次のステップを考える研修会となりました。千代田支部としては、支部のイメージアップを狙いこの研修後実践編として、各社より約8名の参加希望者を募り来年2月までの間各3時間5回の研修を経て、また“千代田支部のブランド構築”にも取り組んでいただきます。どんな結論がでてくるか今後楽しみです。



第4回 常任役員会

平成24年11月14日(水)11時半より千代田印刷会館2階において第4回常任役員会を開催。下記議題について討議しました。(13名参加)

1. 千代田区との災害協定の件
2. 第2回研修会(ブランド構築)の件
3. 本部委員会報告 組織活性化委員会
教育・研修委員会 CSR推進専門委員会
経営革新・マーケティング委員会
4. グループ懇談会の件

組合員の集い

平成25年2月15日(金)
東武ホテルレバント東京

第1部 講演会(3F・龍田)16:30~17:50
講師 東京都印刷工業組合 島村博之理事長
「新しいこと」を考え出す印刷会社の時代

第2部 懇親会(4F・錦)18:00~20:00
・アトラクション タヒチアンダンスショー
・抽選会

訃報

平成24年10月20日 享年82歳
元(有)平和堂印刷所
代表取締役 内田昭三郎 様
10月23日~24日ライフケア松戸会堂におきまして葬儀が執り行われました。

平成 25 年 千代田支部新年懇親会

恒例となった千代田支部新年懇親会は、平成 25 年 1 月 21 日（月）、午後 6 時よりホテルメトロポリタンエドモンド 2 階「悠久の間」において、支部員及び関連業界、報道関係、本部関係あわせて 105 名の出席のもと盛大に開催され、新年の初顔合わせの挨拶や大ビンゴゲーム大会で大いに懇親を深めた。前田副支部長の司会にて開会宣言。



初めに山本支部長挨拶「皆様新年明けましておめでとうございます。今年は巳年であり、脱皮で変わる年であると言われております。

伊勢神宮が 20 年に 1 度の大祭（神官式年遷官）もあり又、年末には政権が変わり安倍政権への期待から円安・株高となりました。一方業界に関しましては昨年 11 月の日本製紙連合会の統計によれば 8 ヶ月連続で対前年比の印刷用紙の国内出荷額が前年割れをしているというレポートがありました。ペーパーレス化、デジタル化が本当に進んでいます。又、昨年は 7 インチのタブレット端末が発表されて、結構売れています。Kindle も日本に上陸し、使っては見ましたが、読んだ達成感が電子書籍ではなくて、やはり便利に使うものと紙の風合いとの使い分けが必要であると思いました。さまざまなクロスメディアとして仲良くして行きたい。

昨年「印刷都市東京と近代日本」というテーマで凸版の印刷博物館で開催されておりました。その中で政治・経済・文化の近代化に関しては東京の印刷が重要な役割を果たしました。又、その中でも特に千代田区がそういった近代化の中心でやってまいりました。支部ではそういったブランドの勉強会をやり分科会で 8 社 10 名の方が研修に取り組んでいます。又、千代田支部のブランディング、差別化を 5 月の総会までに披露出来ればと思っております。」等のスピーチがあった。

引き続き、ご来賓の（株）小森コーポレーション代表取締役小森善治様より関連業界代表としての謝辞のお言葉の後、「昨年為替の事



▲ 山本支部長



▲（株）小森コーポレーション小森会長兼社長



▲ 日本印刷技術協会 塚田会長



▲ 新村顧問（乾杯）



▲ ビンゴ大会賞品数 97 点



▲ 進行役 新世会 古田幹事長

をこの会でお話させて頂きましたが、何とか円安になるよう本町の為替に強いという宝田恵比寿神社へ1年間で7~8回行きました。なかなか円安にならず神頼みも駄目だと思っていたところ年末に政権が変わり、強いメッセージから日経平均が11,000円近く、ドルが90円ユーロが120円近くなり潮目が変わりました。アゲインストからフォローに潮目が変わった中で次の3点を実行できる企業が風に乗れます。1つ目は事業変革をしっかりとやっている企業、次に強いリーダーシップ3つ目は差別化する事へのチャレンジする事です。」等の挨拶を頂戴した。次に日本印刷技術協会会長塚田司郎様より「昨年5月末より浅野会長より引き継いだわけですが東京より地方の方が、印刷需要を喚起させるやり方が研究されていると思います。(中略)今まで産業界に耳を、ややもすれば傾けなかった民主党から政権が変わり、今年は産業界にとって新しいサプライを刺激する政策がとられることを期待しています。」等のお言葉を頂き、乾杯となった。乾杯の発声は当支部最高顧問の新村重晴氏より厳かに発声を頂き会宴となった。



▲ 小林顧問による手締め



宴も後半に入った所で、ビンゴゲーム大会となり、昨年同様、千代田印刷人新世会の古田氏・江見氏が進行を務めた。今回も常連の人達の当選が多く目についた。時間となり小林顧問の手締めにて盛会の内にお開きとなった。

第84回新世会ゴルフコンペにおきまして
新トロフィが披露されました



山櫻

ここで見つかる。“出逢い”をつなぐグッドアイデア



株式会社 山櫻 神田オフィス
千代田区三崎町 3 丁目 2 番 8 号
TEL: 03-5210-6080 (代)

二葉紙業株式会社

〒101-0051
東京都千代田区神田神保町3の27
電話 03 (3265) 6151 代表

Sakurai

枚葉オフセット印刷機
自動スクリーン印刷機

(株)桜井グラフィックシステムズ
〒135-0032 東京都江東区福住2丁目2番9号
電話 03(3643)1131 (大代表)



四国紙商事株式会社

東京都千代田区内神田1-13-7 〒101-0047
TEL(03)3293-4591 FAX(03)3293-3284
営業所 城東(墨田)城北(中野)城南(大田)平塚(神奈川)

SCREEN
MEDIA TECHNOLOGY

株式会社 メディアテクノロジー ジャパン
MEDIA TECHNOLOGY JAPAN CO., LTD.
東京都千代田区九段南2-3-14
☎03-3237-3124



DIC グラフィックス株式会社

DIC株式会社とザ・インクテック株式会社は、国内印刷インキ事業を統合し、2009年10月1日に合弁会社 DICグラフィックス株式会社を設立いたしました。

FUJIFILM

富士フイルム グラフィックシステムズ株式会社

ホームページ <http://ffgs.fujifilm.co.jp>

TOYOINK

Visible Science for Life

— 目に見える科学で生活に貢献する —

東洋インキ株式会社
〒104-8378 東京都中央区京橋2-3-13
TEL: 03-3272-3435 www.toyoink.jp



(株)小森コーポレーション

<http://www.komori.co.jp>
本社 東京都墨田区吾妻橋3-11-1 〒130-8666
TEL 03-5608-7803~8 (営業直通)

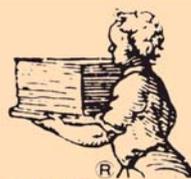
人から人へ心を伝える

heart
www.heart-group.co.jp

各種紙製品

名刺 封筒
カード はがき

東京支店 101-0054 東京都千代田区神田錦町3-2
TEL 03-3518-0311 FAX 03-3518-0321



紙を見たら「竹尾」と嗚いてください。

株式会社 竹尾
TEL(03)3292-3611大代



千代田洋紙株式会社
代表取締役社長 瀬川治紀
101-0051 東京都千代田区神田錦町 3-11
TEL.03(3293)1411 (代)

東京都印刷工業組合
千代田支部

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-2
TEL 03-3291-2580 / FAX 03-3295-0550
E-mail : info@chiyoda-p.com
<http://www.chiyoda-p.com>

広告
協賛会社
12社